

# はじめに



人口減少・超高齢社会の到来や急速な経済のグローバル化等により、環境・経済・社会の課題が密接な関わりを持つ中で、地球規模の環境問題に対応するため、「持続可能な開発目標（SDGs）」や「パリ協定」の採択などの国際的な合意が立て続けになされております。

環境問題が深刻さを増す中で、私たちには、大気や水の汚染、廃棄物対策といった地域における環境保全の取組への対応とともに、地球温暖化対策や気候変動への適応といった地球規模での取組にこれまで以上積極的に取り組むことが求められています。

環境を巡る問題は、県民一人ひとりの日々の暮らしや社会における様々な分野の活動に大きく影響する問題です。地域資源を持続可能な形で最大限活用しながら、自然豊かで美しい栃木県を「環境負荷が少なく、人と自然が共生する社会」として、県を挙げて守り、育てていく必要があります。

このため、本県では、平成28（2016）年3月に、「栃木県環境基本計画」を策定し、環境の現状や社会情勢を踏まえた環境課題への適切な対応や、環境の保全と利活用を目指し、「県民一人ひとりが夢や希望

を持てる地域社会」を形成することを目標として、県民の皆様をはじめ、企業や団体、行政が連携・協働しながら各種施策を積極的に展開しています。

この「栃木県環境白書」は、本県の環境の状況や平成29（2017）年度に県が実施した環境保全に関する施策等についてまとめたものです。本書が、県民の皆様の環境問題への理解を深めるとともに、環境基本計画で掲げた将来像、「守り、育て、活かす、環境立県とちぎ」の実現に向けた「行動」の一助となれば幸いです。

平成30（2018）年9月

栃木県知事 福田 富一

## も く じ

<b>栃木県環境基本計画</b> … 1	
<b>I 地球温暖化に立ち向かう社会づくり</b>	<b>III 豊かで誇れる自然を次代に引き継ぐ社会づくり</b>
<b>～低炭素社会の構築～</b>	<b>～自然共生社会の構築～</b>
1 温室効果ガス削減対策とエネルギー対策の一体的推進 … 2	1 多様な生物と自然環境の保全・利用 … 9
2 CO <sub>2</sub> 吸収源対策 … 3	2 環境を支える森林・みどりづくり活動の推進 … 11
3 地球温暖化への適応 … 3	3 野生鳥獣の適切な管理の推進 … 11
<b>II 良好な生活環境を保全し、限りある資源を有効に活用する社会づくり</b>	<b>IV 共通の基盤的施策</b>
<b>～循環型社会の構築～</b>	1 環境を守り、育て、活かす人材の育成 … 13
1 大気環境の保全 … 4	2 環境エネルギー産業の振興 … 14
2 水環境の保全 … 5	3 エネルギーを賢く利用する環境負荷の小さい地域づくり … 15
3 土壌・地盤環境の保全 … 6	4 放射性物質に係る取組の推進 … 15
4 騒音・振動・悪臭の防止 … 6	5 環境影響評価の推進等 … 15
5 廃棄物等の減量及び適正処理の促進 … 7	<b>「栃木県環境基本計画」の進捗状況</b> … 17
6 その他生活環境問題への取組の推進 … 8	